

平成21年度 学校評価（学校自己評価・学校関係者評価）結果

福岡市立当仁小学校

（学校関係者評価委員会構成員）

学校経営方針・学校教育方針	今年度の重点目標
人権教育全体計画に沿って、全ての教育活動の中で人権感覚を育て、自他のよさ、可能性を認め合い、共に学び合う学校をつくる 経営方針（1）人権の視点に立った国語の授業研究に取り組む。 （2）子ども理解に努め、予防的な生徒指導に取り組む。 （3）学校を開き積極的に教育情報を発信する。 教育方針（1）全ての教科の基礎となる国語力を向上させる。 （2）子ども一人一人の自尊感情と共生の心をはぐくむ。	「人権に根ざした学力向上の取組」 生涯学習につながる国語力の向上に向けた日々の授業改善と同僚性を発揮し合う授業研究の実施 新学習指導要領移行期1年次の内容の共通理解・共通実施と保護者への十分な説明 「人権に根ざした学年経営の充実」 教職員が学び合い助け合い、個々のよさが発揮できる学年経営の実施・評価 「人権に根ざした教育情報の発信と管理」 児童・教育内容に関わる教育情報の管理徹底と正しい教育情報の発信

役職等
1 学識経験者・元小学校校長（委員長）
2 当仁校区自治協議会 会長
3 当仁公民館 館長
4 当仁校区子ども育成会連合会 会長
5 当仁校区体育協会 会長
6 当仁校区交通安全推進委員会 会長
7 主任児童委員・民生委員
8 PTA会長（保護者代表）

評価 S：目標をかなり上回る A：目標をやや上回る B：目標をほぼ達成する C：目標をやや下回る D：目標をかなり下回る

評価項目	目標及び指標等		自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明	今後に向けての方針・改善点
	目標	指標 <指標ごとの評価>					
教育課程 学習指導	国語力の向上を目指す校内研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み方の習得状況</li> <li>読書への活用状況</li> <li>特別支援の視点をもった授業の実施状況</li> </ul>	B B B	B	B	全職員で授業研究に取り組んできた姿が公開授業の随所に現れている。また、発問や板書の工夫もうかがえる。本を手にとる子どもが増えてきているとのことであるが、継続的な朝の読書タイムの成果と思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業の成果と課題を研究推進委員会を中心に明らかにして、当仁小学校で一貫した国語の授業の進め方を確立していく。</li> <li>授業改善と共に、朝の読書の継続及び、読書環境のさらなる充実を図る。</li> </ul>
	基礎・基本の定着を目指す指導方法工夫改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学力実態を把握する評価の実施状況</li> <li>個に応じた指導の実施状況</li> </ul>	B B	B	B	毎時間、めあてを明確にした授業に努め、児童の自己評価やテストの結果を指導方法の改善に生かすことができた。また、個に応じた教材開発の充実も図ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年部に位置づけられた担当者がさらに連携を深め、個に応じたきめ細かな取組に努めていく。</li> <li>学習規律や学習過程などについて、さらなる共通実践を行っていく。</li> </ul>
生徒指導	基本的な生活習慣及び規範意識の定着を目指す日常指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつと言葉づかいに関する指導の状況</li> <li>学校や社会のルールへの順守に関する指導の状況</li> </ul>	B B	B	B	あいさつと言葉づかい及びルールの順守の指導については、全職員の共通理解の下、全校的な取組にすることができ、子どもの姿に大きな改善が確認された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手を大切にす挨拶と言葉遣いをさらに向上させると共に、学校や社会のルールの遵守に関する指導を全職員で共通理解し取り組んでいく。</li> </ul>
	自尊感情の向上を目指す指導と支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等を通じた指導の状況</li> <li>人間関係づくりへの取組状況</li> </ul>	B B	B	B	児童のよさを伸ばす声かけや指導に努め、縦割り掃除など児童の主体的な活動を積極的に取り入れることで自尊感情の向上を図ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるようになったことなど一人一人の子どもたちの良さを見つける目を磨き、認め、自信を付ける取組をさらに続けていく。</li> </ul>
特別支援教育	特別支援教育の推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会の定例化の状況</li> <li>ケース会議の充実状況</li> <li>地域サポーターとの連携状況</li> </ul>	B B A	B	B	ケース会議で個々の児童の実態に基づいた具体的な支援について具体的な協議を行い、通級指導担当教員や地域サポーターと連携した推進体制を確立することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童をさらに広げて、教育的支援の必要な児童の実態把握・支援内容と方法の具体化をして、支援を行き届かせ、支援の充実を図る。</li> </ul>
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に応じた特別支援の実施状況</li> <li>交流学习の実施状況</li> </ul>	A B	B	B	特別支援教育支援員や地域サポーターによる個別指導が効果を上げ、学力の向上と併せて生活面のトラブル減少につながった。また、児童の実態に応じた交流学习が実施できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員や地域サポーターと担任の連絡調整を、記録ノートや面談などで密にとることで、同じ視点でそれぞれの立場を生かした指導をして支援の充実を図る。</li> </ul>
安全管理 安全指導	安全管理体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理システムの確立と運用状況</li> <li>緊急時連絡体制の確立と運用状況</li> </ul>	B B	B	A	校舎改築工事に伴う安全対策を徹底し、関連事故の防止に努めることができた。また、緊急時の連絡方法としてのメール配信システムの充実と効果的運用を図ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の本校における各種事故の事例を整理し、事例に基づいた職員研修を実施する。メール配信システムの登録率を90%以上に向上させる。</li> </ul>
	安全指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全指導推進体制の状況</li> <li>安全指導の実施状況</li> </ul>	B B	B	A	安全点検の充実により、危険箇所での早期発見・早期対応ができた。また、児童に関する事故報告など、安全に関する情報の共有化により安全指導の充実を図ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全点検のさらなる充実と、安全に関する情報の共有化を確実に挙げる。</li> <li>共有した情報を、確実に学級指導に生かす。</li> </ul>
保護者・地域住民との連携	保護者・地域住民と連携した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育及び情報の公開状況</li> <li>教育活動のゲストティーチャーとしての連携状況</li> </ul>	B A	B	B	学校・学年・学級からの便りやホームページなどによる情報発信の充実を図ることができた。また、学校支援地域連携事業を生かし、保護者・地域住民との連携を推進できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度も子どもの活動を中心とした情報を積極的に発信していく。</li> <li>地域コーディネーターと情報交換し、今年度のGTRリストを完成させる。</li> </ul>
	他校種と連携した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校との連携状況</li> <li>保育園、幼稚園との連携状況</li> </ul>	B B	B	B	中学校を中心とした小中連携について学校間の共通理解はできたが、具体的な取組は今後の課題である。保幼との情報交換や相互訪問を1年生の指導に生かすことができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中合同研修会のさらなる充実（情報交換と意見交流による相互理解）</li> <li>機を捉えての小中間の授業参観</li> <li>4校共通のマークと合い言葉の掲示</li> </ul>